

# 四半期報告書

第136期 第1四半期

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

株式会社豊田自動織機

(E01514)

# 目 次

	頁
第136期 第1四半期 四半期報告書	
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	5
1 【株式等の状況】 .....	5
(1) 【株式の総数等】 .....	5
(2) 【新株予約権等の状況】 .....	5
(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 .....	5
(4) 【ライツプランの内容】 .....	5
(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】 .....	5
(6) 【大株主の状況】 .....	6
(7) 【議決権の状況】 .....	6
2 【役員の状況】 .....	6
第4 【経理の状況】 .....	7
1 【四半期連結財務諸表】 .....	8
(1) 【四半期連結貸借対照表】 .....	8
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】 .....	10
2 【その他】 .....	16
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	17
独立監査人の四半期レビュー報告書 .....	巻末

本書は、金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次および頁を付し、出力・印刷したものであります。

本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された独立監査人の四半期レビュー報告書を末尾に綴じております。

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月8日

【四半期会計期間】 第136期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社豊田自動織機

【英訳名】 TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大西 朗

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)22-2511

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 河井 康 司

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内2丁目4番1号  
丸の内ビルディング29階  
株式会社豊田自動織機 東京支社

【電話番号】 東京(03)5293-2500

【事務連絡者氏名】 支社長 石川 俊彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第135期 第1四半期 連結累計期間	第136期 第1四半期 連結累計期間	第135期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	386,544	486,738	1,615,244
経常利益 (百万円)	25,944	38,746	86,836
四半期(当期)純利益 (百万円)	14,535	27,955	53,119
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△69,025	237,832	349,283
純資産額 (百万円)	1,112,089	1,755,177	1,524,933
総資産額 (百万円)	2,506,285	3,641,409	3,243,779
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	46.64	89.38	170.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	89.27	170.35
自己資本比率 (%)	42.52	46.76	45.43

(注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。

2 第135期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、事業等のリスクに重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を1,002億円(26%)上回る4,867億円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期を55億円(30%)上回る238億円、経常利益は前年同期を128億円(49%)上回る387億円、四半期純利益は前年同期を134億円(92%)上回る279億円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車

自動車におきましては、売上高は前年同期を466億円(23%)上回る2,533億円となりました。営業利益は前年同期を21億円(27%)上回る100億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツは減少したものの、RAV4が増加し、売上高は前年同期を351億円(43%)上回る1,174億円となりました。

エンジンにつきましては、主にAR型ガソリンエンジン、KD型ディーゼルエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期を27億円(5%)上回る567億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外ともに増加した結果、売上高は前年同期を97億円(17%)上回る657億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、主にプリウス・アクア向けの電子機器が減少したことにより、売上高は前年同期を10億円(7%)下回る133億円となりました。

#### ② 産業車両

産業車両におきましては、主力のフォークリフトトラックが国内では前年同期並みに推移したものの、海外が増加したことに加え、2013年3月にカスケード株式会社を子会社化したことにより、売上高は前年同期を506億円(36%)上回る1,896億円となりました。営業利益は前年同期を29億円(35%)上回る113億円となりました。

#### ③ 物流

物流におきましては、物流受託事業が増加し、売上高は前年同期を9億円(4%)上回る239億円となりました。営業利益は前年同期並みの10億円となりました。

#### ④ 繊維機械

繊維機械におきましては、紡機、織機が増加したことにより、売上高は前年同期を45億円(48%)上回る136億円となりました。営業利益は前年同期を3億円(111%)上回る5億円となりました。

⑤ その他

その他におきましては、子会社でありました株式会社ティーアイビーシーを2013年1月に解散したことにより、売上高は前年同期を25億円(29%)下回る60億円となりました。営業利益は前年同期並みの6億円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

総資産につきましては、主に投資有価証券の時価評価額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3,977億円増加し、3兆6,414億円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,674億円増加し、1兆8,862億円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,302億円増加し、1兆7,551億円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は、111億円であります。

- (注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。  
2 セグメントの業績に記載の売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,100,000,000
計	1,100,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	325,840,640	325,840,640	東京、名古屋 各証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	325,840,640	325,840,640	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	325,840	—	80,462	—	101,766

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,632,800	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 311,952,900	3,119,529	—
単元未満株式	普通株式 254,940	—	—
発行済株式総数	325,840,640	—	—
総株主の議決権	—	3,119,519	—

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が54株含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町 2丁目1番地	13,632,800	—	13,632,800	4.18
計	—	13,632,800	—	13,632,800	4.18

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株あります。

なお、当該株式数は、「①発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	230,348	264,885
集配金業務用の現金及び預金	49,981	51,067
受取手形及び売掛金	215,799	211,178
リース投資資産	41,964	45,052
有価証券	33,047	32,561
商品及び製品	66,670	68,954
仕掛品	35,088	36,067
原材料及び貯蔵品	40,762	40,846
繰延税金資産	23,836	27,205
その他	46,222	50,356
貸倒引当金	△3,204	△3,395
流動資産合計	780,517	824,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,871	139,555
機械装置及び運搬具（純額）	218,214	222,997
工具、器具及び備品（純額）	30,500	30,611
土地	118,244	118,633
建設仮勘定	43,982	56,967
有形固定資産合計	549,814	568,764
無形固定資産		
のれん	122,003	102,537
その他	46,045	82,688
無形固定資産合計	168,049	185,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,598,437	1,909,052
繰延税金資産	12,304	9,838
リース投資資産	93,572	101,105
その他	41,231	42,949
貸倒引当金	△148	△307
投資その他の資産合計	1,745,398	2,062,638
固定資産合計	2,463,262	2,816,629
資産合計	3,243,779	3,641,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	180,146	173,731
短期借入金	183,920	121,046
コマーシャル・ペーパー	30,224	32,030
1年内償還予定の社債	4,499	10,907
リース債務	44,851	43,755
未払金	17,623	20,987
未払法人税等	15,958	15,737
繰延税金負債	2,923	3,034
役員賞与引当金	570	176
その他	178,378	188,713
流動負債合計	659,095	610,122
固定負債		
社債	213,584	213,892
長期借入金	236,318	323,352
リース債務	101,883	109,175
繰延税金負債	440,356	561,452
退職給付引当金	※1 52,779	※1 54,164
その他	14,829	14,072
固定負債合計	1,059,750	1,276,109
負債合計	1,718,846	1,886,232
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	105,898	105,670
利益剰余金	492,578	511,167
自己株式	△48,405	△46,313
株主資本合計	630,534	650,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	830,054	1,031,953
繰延ヘッジ損益	△237	△204
為替換算調整勘定	13,163	19,868
その他の包括利益累計額合計	842,980	1,051,617
新株予約権	1,478	1,094
少数株主持分	49,939	51,479
純資産合計	1,524,933	1,755,177
負債純資産合計	3,243,779	3,641,409

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	386,544	486,738
売上原価	321,876	402,849
売上総利益	64,667	83,889
販売費及び一般管理費	46,350	60,076
営業利益	18,317	23,813
営業外収益		
受取利息	2,205	2,640
受取配当金	10,497	18,223
その他	1,863	2,206
営業外収益合計	14,566	23,070
営業外費用		
支払利息	3,663	3,841
その他	3,275	4,296
営業外費用合計	6,939	8,137
経常利益	25,944	38,746
特別損失		
関係会社整理損	※1 6,616	—
特別損失合計	6,616	—
税金等調整前四半期純利益	19,327	38,746
法人税、住民税及び事業税	10,684	13,000
法人税等調整額	△4,390	△2,259
法人税等合計	6,293	10,740
少数株主損益調整前四半期純利益	13,034	28,005
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,501	50
四半期純利益	14,535	27,955

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,034	28,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,062	201,927
繰延ヘッジ損益	293	32
為替換算調整勘定	△10,129	7,730
持分法適用会社に対する持分相当額	△161	135
その他の包括利益合計	△82,060	209,826
四半期包括利益	△69,025	237,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,897	236,592
少数株主に係る四半期包括利益	△1,128	1,240

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※1 退職給付引当金に含まれる役員（執行役員を含む）の退任慰労引当金の額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
役員退任慰労引当金	1,953百万円	1,606百万円

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1 関係会社整理損

子会社であります株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失（4,516百万円）、設備撤去費用の見積額などがあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	19,263百万円	23,584百万円
のれんの償却額	1,623百万円	2,285百万円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	7,792	25	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、7,792百万円の剰余金の配当を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	9,366	30	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、9,366百万円の剰余金の配当を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	206,761	139,011	23,025	9,188	8,556	386,544	—	386,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,304	131	2,116	20	2,732	10,305	△10,305	—
計	212,066	139,143	25,142	9,209	11,288	396,849	△10,305	386,544
セグメント利益	7,922	8,419	1,103	255	672	18,372	△55	18,317

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要な製品は、半導体パッケージ基板であります。

2 セグメント利益の調整額△55百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	253,375	189,694	23,996	13,639	6,032	486,738	—	486,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,788	193	2,591	38	3,175	11,788	△11,788	—
計	259,164	189,887	26,588	13,678	9,208	498,527	△11,788	486,738
セグメント利益	10,032	11,385	1,098	538	680	23,735	77	23,813

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額77百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」におきましては、子会社であります株式会社ティーアイピーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失(4,516百万円)を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「繊維機械」におきましては、子会社でありますウースター テクノロジーズ株式会社の株式を追加取得したことにより、のれんの金額は、8,689百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(のれんの金額の重要な変動)

「産業車両」におきましては、子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたことに伴い、暫定的に算定されたのれん45,183百万円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことにより、17,813百万円減少しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたため、取得原価の配分が完了しておらず、その時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間において、取得原価の配分が完了し、受け入れた資産および引き受けた負債は主に、固定資産の「無形固定資産」の「その他」32,846百万円、固定負債の「繰延税金負債」11,267百万円となりました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	46円64銭	89円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	14,535	27,955
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	14,535	27,955
普通株式の期中平均株式数 (千株)	311,686	312,767
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	89円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	—	381
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

株式会社豊田自動織機

取締役会 御中

## あらた監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 笹山勝則

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 戸田栄

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 市原順二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豊田自動織機の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社豊田自動織機及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

